

KARAS*ダンス公演

COMPOSED by SABURO TESHIGAWARA

SARACENS

MIYATA*KEI***フ**KARAS

構成・振付*

勅使川原三郎

出演*宮田佳・大森薫・伊藤俊・家永光一・飯田町男

照明*清水徹三 音響*相田透 制作*KARAS

サ セ ン

その裡を凡百の、ミミの縷、電光の、ミミに仕舞して
サラセン風の怪綺なる快様を織る 猩々緋のかがみ、地上の色々
ミミ、黄昏とミミの星のやうに黄昏
K.Hindt

3月 11(金) 12(土) 13(日)
開演*7時 開演*3時 開演*3時
*7時 *7時

文芸坐ル・ピリエ

宮田佳 — 撮影*荒木経惟

SARACENS

KARAS

COMPOSED by

SABURO TESHIGAWARA

カラセン

料金★前売・予約/2200円 当日/2500円 会場★文芸坐ル・ピリエ ☎03・971・9423
問い合わせ・予約★KARAS ☎03・333・4645
チケット取扱い★チケットぴあ ☎03・237・9999/チケットシーズン ☎03・980・6666
ワイズフル [西武池袋店 10F]



photo★Nobuyoshi Araki

KARAS★

ダンス公演

The

STEINA WOODY

Vasulkas

3.4-26.4.1992

NYKYTAITEEN MUSEO

The Vasulkas

Steina Vasulka TOKYO FOUR videoinstallaatio/ videoinstallation/ video installation

Woody Vasulka ART OF MEMORY video

3.4.-26.4.1992

Avajaiset torstaina 2. huhtikuuta klo 19.00

Versissage torsdagen 2. april kl. 19.00

Opening on Thursday, April 2, at 7 p.m.

NYKYTAITEEN MUSEO

MUSEET FÖR NUTIDSKONST

THE MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

Helsinki, Kaivokatu 2-4 / Helsingfors, Brunngatan 2-4

Näyttely liittyy MuuMediaFestivaalin '92 ohjelmistoon

Utställningen ingår i MuuMediaFestivals '92 program

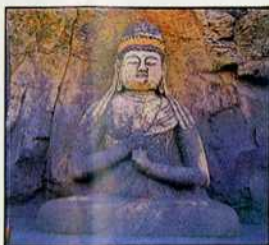
The exhibition is included in the MuuMediaFestival '92 programme



長者夫妻像 ⑫
真名野長者ともいわれて
石仏を造らせたともいう



蓮城法師像 ⑪
満月寺の開基とも伝えら
れ長者夫妻の保護者とも



大日如来複元像
当時の壮観な姿を再現し
た 文化庁製作の模造像



石の鳥居 ①
昔 海であつ
たこの附近の
満月寺への参
道ともいう
どっしりとし
た石造り鳥居



宝篋印塔 (日吉塔) ⑬
鎌倉中期以前の作といわ
れ均衡の美しい塔で有名

仁王像 ⑩
室町時代の作といわれ 全身の力の結晶がすばら
しく 満月寺の参道がひときわ引立つようです



観 覧 料：大人(高校生含む) 1人=500円
小人(小・中学生) 1人=250円
団体割引：30人以上100人未満 大人400円、小人200円
観 覧 料 100人以上300人未満 大人380円、小人190円
300人以上 大人360円、小人180円
※六才未満は無料・駐車場は無料。

特別史跡・重要文化財 臼杵石仏

〈JR周遊指定地〉



大分県・臼杵市・臼杵市観光協会

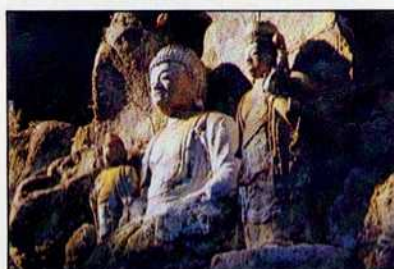
白杵石仏ご拝観のしおり

藤原 鎌倉時代の作といわれながら 謎と伝説につつまれて今なお風雨にたえ 彩色された姿は 当時の壮観さが目にうかぶようです 白杵石仏は丸彫りに近く 磨崖仏として その質と量においても最も秀れたもので 現在60余体が七ヶ所に彫られていて 昭和27年特別史跡 昭和37年 重要文化財指定となり 周遊指定地にもなりました 白杵市は 今後も増えるご拝観者の方々の為にも この重要文化財を保存していくように努力いたしております ご拝観される度にあなたの願いともども この先何拾年何百年先のこの壮観さをお祈りいただければ幸いです 大分県・白杵市”白杵市観光協会”



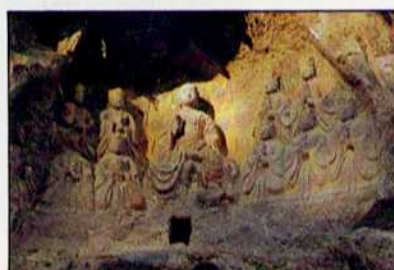
一がん九品の阿弥陀像 ②

鎌倉時代に入ってから作だといわれ 九仏と伝えられていましたが 実際には十三体あったらしく 当時は五色の色で化粧されていました 風雨にさらされながらも今なお色鮮やかに残っています



二がん弥陀三尊像 ③

藤原前期の作といわれ 石仏群中最も優れたものの一つで 中尊 阿弥陀は第二の巨像で肩から胸腹部への量感 衣紋の刻みも強く 木彫でも見るようです ほとんど丸彫りに近い彫成になっています



三がん地藏十王像 ④

藤原末期から鎌倉初期の作で この像は冥府で亡者の罪をくだす十人の王です 右足を坐し 左足を立てている姿は珍しく 錫杖を持っていない姿は最も古い様式です 光背の中に彩色唐草紋が残っています



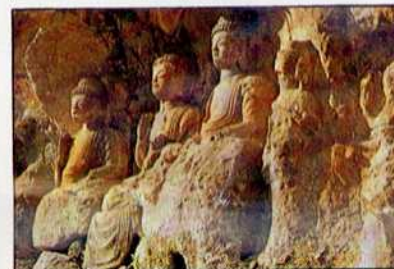
四がん大日如来群 ⑤

忍者風の手指がめずらしい 大日如来を中尊に小像からなっています 中心の三尊は座像で膝前が長く広いのが特色です 如来像の台座の前面には 孔があり 願文や経巻を納めたものだと思います



五がん阿弥陀如来群 ⑥

堂ヶ迫石仏群の中心的仏像です 平安前期の仏像に見られる重厚で幽暗に 静まった顔 重量ある体軀は日本石仏中でも珍しく 堂々と威厳に満ちあたりを圧しています 大陸風な彩色された髭が鮮明です



六がん釈迦如来群 ⑦

かれんな童顔の明るい表情で 私たちになつかしく語りかけてきます 彫法は簡素で素朴な印像を受けますが 鍛練と円熟の時期を過ぎてからの技法と思われ 品位のある像となっています



山王山石仏 ⑧

藤原末期の作といわれています この像は隠れ地藏とも呼ばれ 中尊は 釈迦如来です 他の石仏とは異った童顔で やさしく 体は丸々と衣紋も薄く 流暢に彫られています 故 安井曾太郎画伯の激賞像



古園石仏 ⑨

藤原中期頃の作といわれ 白杵石仏の中心的存在であり特に 大日如来は気品高い表情 切れ長の目 引きしまった口元 二重あごなど神秘的気分がただよい 日本の石仏中にもあつても最も推称すべき顔容です